

OZデイのおがた評価表 児童発達支援(スタッフ)

		はい	いいえ	どちらともいえない	意見	改善策	
環境・体制整備	1		2	1	4	利用者さんが多い時は狭いと感じる時もある。 10人以下の場合は適切であるが10人以上になると狭くなる 環境整備をしてスペースを作っています 利用者の人数が多い日にはスペースが足りていない。 利用者が少ない時は、訓練のスペースを確保できるが、多いときにはスペースが取れず難しいばあいがある	
	2		4	1	2	適切であると思う。 スタッフが辞めたりとかで変わってくる 職員配置は適切であると思っています 常勤看護師を増やして欲しい 常勤の保育士、看護師が足りていない 職員の配置数は適切であるとは思いますが。	
	3		6	0	1	バリアフリーになっている。 段差もなく床も柔らかいマットをひいたり配慮している 段差を感じていません ドア入口にスロープを設け、安全に出入りできるようにしている	
常務改善	4		5	0	2	連携をとりあい、PDCAサイクルできるようにしている。 支援計画を元に職員で話あったり支援をしながらPDCAを行っている 職員会議などで改善を行っている 会議を定期的に関き、また、様々な機会を捉え、全職員で関わっている	
	5		3	1	3	なるべく意向に添えるようにしているが、まだ改善する点はある。 つなげている 保護者アンケートにて改善に努めています 全職員職員で共通理解をし、より良くなるよう業務改善に向けて、話し合っている	
	6		1	3	3	ホームページなどでは公開していない。 公開を行って改善策を考えています 結果については、ホームページで公開している	
	7		1	4	2	連携はとって評価は行ってない。 連携をとりながら改善につなげている 部外評価をしているのではないかと考えています 協力医などの助言を仰ぎ、業務改善に努めている	
	8		1	1	5	コロナの影響で今は出来ていない。 行ける時は行くようにしている 現在コロナで研修等には行けていないが調整を行うよう努力をしています コロナの為研修に行く機会がない 研修のお知らせが来た際には、全職員に知らせ研修の機会を確保している。 また、事業所内でもAEDの使用など、看護師による研修を行った	
	9		7	0	0	している 親の思い、子供の思いを汲み取り聞き取り作成している 子どもや保護者のニーズにあった個別支援計画を作成している	
適切な支援の提供	10		6	0	1	利用開始時と年度末に行なっている。 カルテの中に健康調査票など決められたものを書いてもらっている 事業所の聞き取り表にてまた体験時にも一緒に聞き取るように行っています 聞き取り表や、健康調査票などは、事業所内で決められた物がある	
	11		2	1	4	支援員さんや保護者からの情報での支援内容を設定している 負担のないようになおかつ達成できそうな目標にしている できるだけ、具体的な支援内容となるよう、連絡を密にしている	
	12		5	0	2	スタッフ間で話し合い支援できている。 日常生活を通して行っている スタッフ全員が意識して支援している 全職員で共通理解を図り、個別支援支援計画にした支援が行われるよう、日々努力している	
	14		4	1	2	保育士と訓練士で話し合いできているが、もう少し幅を広げて行きたい。 固定化している時がある為、別の活動を行えるように工夫を行う 季節の行事を取り入れながらいろいろな活動をしています 他の事業所が行っていることを、インターネットなどで調べて、固定化しないよう工夫している	
	15		3	0	4	組み合わせて行っている 一人ひとりに応じた支援計画を作成しています 臨機応変に、組み合わせながら個別支援計画を作成している	

02デイのおがた評価表 児童発達支援(スタッフ)

		はい	いいえ	どちらともいえない	意見	改善策	
関係機関や保護者との連携関係	20		5	0	2	出来ている。 担当者が参画するようにしている 子供の状況把握し参加している その子の担当者や、医療行為が必要な場合は監獄が参画したりと、臨機応変に行っている	
	21		3	0	3	あまり行えていない為、今後は積極的に行っていけるようにする 相談支援所や通園など連携をとっている 管理者が窓口となり、関係機関と連携した支援を行っている	
	22		5	1	1	出来ていない時もあるので、見直す必要がある。 療育センターや、支援学校等との連携をとっての支援を行っている 連携の取れているところと取れていないところがある	
	23		5	0	2	会議を行い受け入れる場合とそうでない場合もある。 病院の連絡先や先生の名前等を書いてあり、連絡体制を整えている 保護者を通して連携をとっている 主治医から、こどもの様子など直接話を聞いたり、在宅ケアを行っている 事業所から話を聞いたり、連携を行っている	
	24		5	0	2	出来ていないので、しっかり行っていきたい。 子供達のために情報共有や相互理解をしっかりと図っている 情報共有を行っていると思う	
	25		4	0	3	送迎時に情報共有しているが、時間が足りていない為、時間を設けていきたい。 情報共有や相互理解を図っている 情報共有を行っていると思う	
	26		1	0	6	今はコロナの影響がある為、電話での連携をとっている。 わからないことや質問を聞いて助言等を受けている 現在コロナで研修を受けれていないが機会があれば受けたい 療育センターの通園担当者や連携を図り、こどもの様子様子などを聞いて、日々の支援に役立っている	
	27		0	4	3	感染防止から交流はしていない。 現在は保育園等の関わりの機会はなく今後とっていく 機会があれば受けてみたい コロナの感染予防のため、交流などは行っていない	
	28		0	4	3	感染防止から今は行っていない。 現在は参加できてなく今後積極的に参加していく 基本管理者が参加している	
	29		6	0	1	送迎時やお迎え時に行なっている。 子供達の状況を互いに伝え合うことができている 送迎時は連絡帳を使って共通理解をしている 日頃から、1日の様子や気になったことなど保護者と話し、事業所内で職員と共通理解を図る。また、伝え合う事によって保護者と信頼関係が築けるよう心がけている	
	30		3	0	4	出来る様に努めている。 必要な家族に対しては行うことができている 時々行っていると思う 保護者の不安や、疑問に対して、少しでも安心できるよう助言、支援を行っている	
	31		6	0	1	契約時に行なっている。 利用前に説明している パンフレットを活用して見学時などに説明ができている	
	32		7	0	0	必ず説明して行なっている。 説明を行い同意を得ている 半年に1回本人を交えて面談を行って同意を行っています 主に自発管が、個別支援計画の説明をし、同意をえている	
	33		7	0	0	必要に応じて行なっている。 相談をうけると助言や支援を行っている 保護者からの悩み相談に対してしっかり答ええているつもりである 保護者の悩みや不安な気持ちに寄り添い、助言と支援が行えるよう努めている	
34		0	5	2	保護者会などを設けていないため、出来ていません。 保護者同士との連携にあまり関わりが持てなく今後は積極的にとっていく 現在コロナのために交流の場が持てていない コロナが流行する前は、お楽しみ会で保護者同士が話せる場があったが、現在は中止している		

OZデイのおがた評価表 児童発達支援(スタッフ)

		はい	いいえ	どちらともいえない	意見	改善策
関係機関や保護者との連携関係	35				上に報告し、受け入れられるように努力はしているが難しい場合もある。迅速に対応している できるだけ迅速に対応していると思う 全職員で共通理解を図り、かつ連携して迅速に対応できるよう、心がけている	
	36				会報も今は間に合い発信できている。 コロナが流行り行事が行えてない 発信していると思う OZ便りを発行し、こどもの様子を知らせるとともに、活動予定を配布している	
	37				スタッフ一人一人十分注意している。 している 写真加工したり事業所の外に持ち出さないよう十分に注意している 鍵がかかる保管庫にいれる、個人の資料は使用后すぐに片付けるなどおこなっている	
	38				伝え方に注意を行っている 配慮していると思う 意思の疎通が図りにくい場合には、マルバツカードを使ったり、視線や表情などから読み取るようにしている	
	39				まだ行えてない、今後行っていく コロナの感染予防のため、行っていない	
	40				月に一回発生を想定して行っている 毎月1回訓練を行っている 毎月避難訓練など様々な場面を想定した訓練を行い、実施している。また、実施後には反省を行い、今後スムーズに避難ができるように記録をとっている	
	41				避難訓練を行なっている。 月に一回必要な訓練を行っている 毎月1回行っている 毎月避難訓練など様々な場面を想定した訓練を行い、実施している。また、実施後には反省を行い、今後スムーズに避難ができるように記録をとっている	
	42				利用開始時に確認している。 カルテをみての状況確認をしている 年に一回情報を聞いている 保護者から、利用前の聞き取りを行い、子どもの状況を把握している	
	43				保護者の方に確認して行なっている。 保護者の話を聞いての対応を行っている 保護者より聞き取りをし保護者を通し医師からの指示も聞いている 食物アレルギーについても、食事提供者には医師の指示に基づいて、除去食を提供している	
	44				共有できている。 している 毎月提出して各事業所で話し合い共有しています ヒヤリハットが起こった際は、記録簿にどのような状況で起こったのかを記入し、再発防止に努めている	
	45				毎月の会議時に行なっている。 毎回の職員会議で議題として虐待について話している 毎月会議なので話し合っている 毎月の会議で、虐待について必ず話をあっている	
	46				個別支援に記載出来ていないため、していく必要がある。 できてない場合があるので今後みんな拘束がやむおえない子供には記載していく 現在拘束する児童はいないが対象児がいる場合同意書がある	